

新製義歯へのサポート マウスジェルの使い方

花空木デンタルケアオフィス
歯科医師 永尾 真以

口腔内と義歯は、互いに湿潤状態であることが装着時の安定と不快感の軽減に欠かせません。

患者さんの唾液分泌量が不十分なとき、口腔保湿剤でマウスジェルを活用すると、唾液類似成分が豊富に含まれたジェルの粘性が口腔と義歯の吸着を補ってくれます。

■適用対象となる患者さん

①義歯新製後

⇒特に義歯新製後3日目頃に違和感のピークを感じる方が多いようです。

②口腔内が乾燥しており、義歯装着時に痛みを訴える方

⇒患者さん自身が口腔乾燥だと気付いていないケースもあります。乾燥症状がないか確認をおすすめします。

■使用方法

①物品の準備……ピンセット 綿球 マウスジェル



②綿球にマウスジェルをとり（パール粒程度）、 義歯内面に薄く塗布する

point 骨隆起や不適合旧義歯による擦過傷があるところは少し厚めに



③特に不快症状の出やすい辺縁やクラスプにはムラがないよう丁寧に塗り込む

point 辺縁は圧がかかりやすく、違和感を感じる人が多い



④義歯を口腔内に入れたら、頬に手を当てて、なじませるように動かす。

積極的にコミュニケーションをとり、患者さんにお話をしてもらうことで唾液分泌が亢進し、筋の緊張がとけて吸着を促します。より口腔内に義歯を保持しやすくなります。

point 口腔周囲筋をリラックスさせ、可動しやすくなるようにマッサージをする。口腔周囲筋は耳下腺の開口部に近いので、唾液腺マッサージの効果もあり、唾液の分泌も促されます



コミュニケーションのPOINT



新製直後は、ぴったりに作っても違和感や痛みが出る可能性を伝える

ここをしっかりと伝えることで、前向きに新しい義歯を使いこなすためのトレーニングをしてくださる方が多くなります。私は、「革靴が最初は靴ずれするように、新しい義歯もはじめは痛みや違和感が出ます。段々履きこなせるようになるのと同じで、新しい義歯も使いこなせるようになります。」と説明しています。理解していただくことで不安が軽減され、患者さんとの信頼関係を保つことができます。

新製後初めの2週間は
不慣れを感じやすく、
痛みや不快感は3日目
あたりがピークになるようです



使いこなせるまで
サポートするから
あきらめないで！



継続使用してもらうための対策を考える

義歯の使用を中止してしまうと、不慣れによる違和感でなかなか使いこなせるようになりません。出来る限り新しい義歯を使用してもらうように伝えます。痛みの緩和には、マウスジェルをクッション材代わりに使うことも有効です。ご自宅でも気になった時に塗っていただけるようにサンプルをお渡ししたりしています。

乾燥による痛みの可能性も伝える

義歯が慣れてきてから、調整で来院された際には乾燥による痛みの可能性をお伝えします。院内で義歯を調整・清掃した後にマウスジェルを塗布し、義歯を入れてもらうと、スルッと入りやすく吸着感もあるので、満足感を得やすいです。

入れ歯が慣れてきてからも、
口の中の乾燥で
粘膜と入れ歯が擦れて
痛みが出る場合があります



清掃方法についての説明

患者さんご自身で義歯清掃した際にしっかり汚れを除去出来ないケースが多いので、清掃方法について注意が必要です。旧義歯使用時に義歯安定剤を使用していた場合には、新義歯や義歯修理後にはマウスジェルに切り替えるようにおすすめしています。清掃しやすく義歯衛生管理が楽です。



まとめ

新しい義歯を作るとき、患者さんの気持ちは不安でいっぱいです。特に旧義歯で落胆した経験のある方は、その傾向が強いように感じます。「新しい義歯を使いこなせるようになるまでサポートが受けられること」を示すことで、患者さんには安心して義歯のトレーニングに励んでいただくことができます。マウスジェルは患者さんにスムーズに義歯に慣れていただくためのアイテムとして非常に効果的です。

